

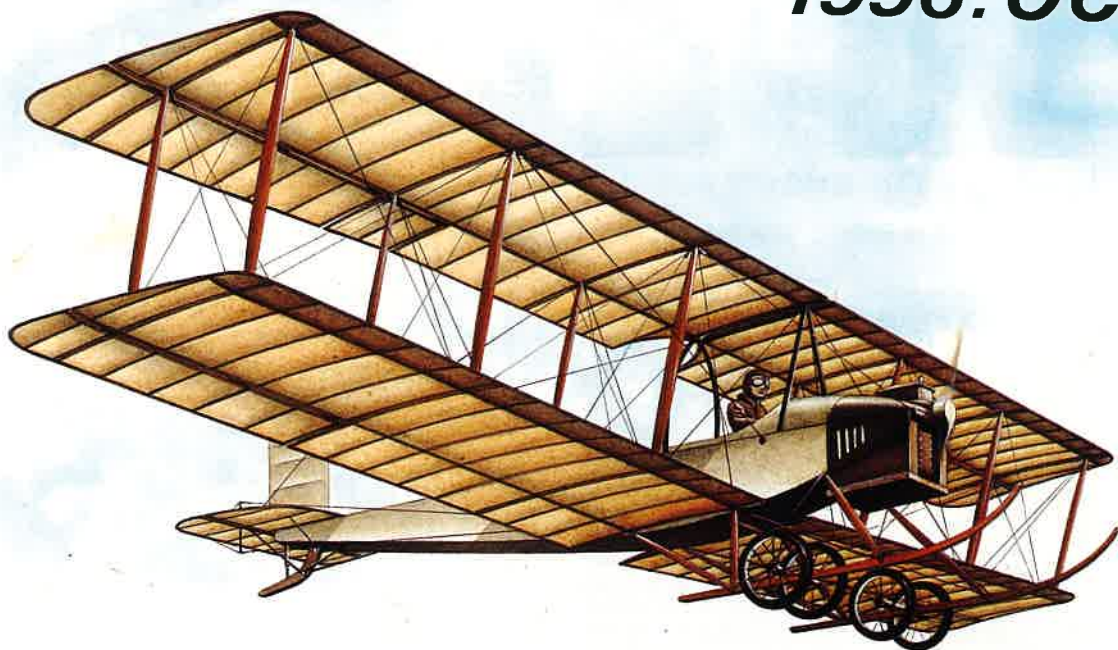
WING NEWS

HONDA FLYING CLUB



HONDA FLYING SCHOOL

1996. OCT



Shigeo Iwase

伊藤式 恵美一型 飛行機 1915年 日本

伊藤音次郎製作 自家用第一号機 (複座 複葉機)

発動機：グレゴアジップ 4気筒直列 空冷 4馬力。全幅：11.50m。
全長：6.65m。高さ：2.5m。翼面積：33.0㎡。
重量(自重)：350kg。最高速度：75km/時。
初飛行：1915年11月11日。千葉県稲毛にて。

140

※単位は(エルビー)
ポンドです。

コングラッチュレーションズ

教官から
ひとこと

●実地試験合格



島袋 健さん

平成 8 年 7 月 26 日(金) JA 4025

おめでとうございます。FINAL C'K 間に巡視船での出張が何回か続きましたが、よくめげずにがんばって見事実地合格。実力は十分でしたから、安心して後ろでゆられていました。今後は事業用めざして、もう一汗かきますか。

石戸教官

●ファーストソロ



内田 裕さん

平成 8 年 8 月 26 日 (月) JA 3936

初単独飛行おめでとうございます。日頃の訓練の成果みごとに発揮され、とても安定したランディングでした。これからもますます着陸の技量向上を図り、クラブ大会でもその実力を発揮して優勝を旨として下さい。

伊藤教官

「秋の紅葉フライト」キャンペーンのお知らせ

山々が紅色に染まる美しい季節がやってまいります。好評につき今年も「秋の紅葉フライト」キャンペーンを行います。御家族、御友人と空からの紅葉狩りに出かけませんか。

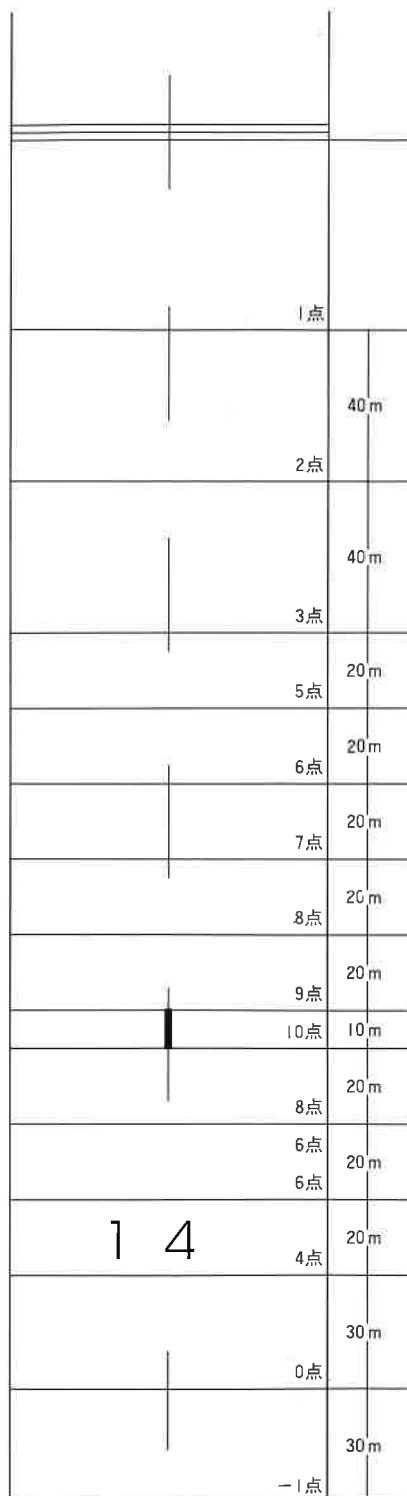
期間：10月19日（土）～11月10日（日）

行先：日光、赤城、榛名、草津方面等（経路は自由設定）

サービス：飛行時間1時間以上で料金10%OFF

本領発揮！ 10/6(日)は本田宗一郎杯争奪競技大会だ。

今年もクラブ大会の季節となりました。腕がむずむずしていらっしゃる皆様、お待たせしました。10月6日(日)にクラブ大会を実施します。本田技研工業㈱より素晴らしい賞品を提供していただきましたのでがんばって下さい。



注目

試合内容は大筋では例年と変わりませんが、接地点の得点位置が変わりました。今までは滑走路指示標識(14又は32の数字上)の所が10点でしたが、今年はRWY ENDから60mの所を10点とします。これにより普通に(練習通りに)アプローチしてくれば10点に接地できる(?)ようになりました。10点のゾーンはセンターラインを太く視認しやすくしてあります。今年はハイレベルな戦いとなりそうです。

すでにRWY 上には白線を引いてあり、いつでも練習OKです。クラブ大会参加の為にTGLをされる方は飛行時間30分以上で料金10%OFFサービス！ どんどん練習に来て下さい。

また、10月5日(土)は安全講習会前夜祭です。これにもどしどし参加しましょう。

○安全講習会15:00~17:00本田航空隣り

レインボーモータースクール2階

講師 日本航空 秋田機長

「エアラインの訓練や運航に関するお話し」

その他

○前夜祭 17:15~18:45 本田航空2階会議室

※参加費用は無料です。



オーストラリア空通信(2)

No.1884 西澤尚通

【1月27日】

気を取り直し、飛行場へ、風は20kt近くあるが、まあ桶川で慣れているから、大丈夫だろう！ 免許取得後、3年ぶりでC152に乗る。エンジンを掛けようとして、

「え…と、Checklistは…」

「簡単なヒコーキだ。知っているだろう？」

「要らないよ。」

「……………」

どうもこの人達とは本当のお友達にはなれないような気がする。仕方が無いので「本田式」で全て行う。クリップボードの裏にC172のChecklistを張っておいたのが、こんなところで役立つ。ATCも独特だ。

“Essendon Ground, (VH-) XSR with detail”

“XSR, Essendon Ground, Go ahead.”

“XSR is C152, 2POB, from Essendon to Bacchus Marsh and return, request taxi clearance with (information) Charlie.”

“XSR cleared to taxi to RWY 28, cleared to cross RWY 35.”

“Taxi to 26, cross RWY 35, XSR”

Run-up 終了後。

“Ground, XSR request airways clearance.”

“XSR, airways clearance to Bacchus Marsh via Westgate Bridge, maintain 1500ft.”

“Via Westgate Bridge, 1500, XSR”

Tower に切り替えて、

“Essendon Tower, XSR ready.”

“XSR, cleared for take off RWY28, make left turn Report over Westgate Bridge.”

“Cleared for take off and left turn, report over Westgate Bridge, XSR.”

ジェット用の長い滑走路から飛び立つのは気



中央やや左がメルボルン市街地。オーストラリアでは大都市ですが、人口は東京のおよそ10分の1。右がEssendon Runway17。市街地に近いので、Business Jet. VIP機が時々訪れます。



(多分) 典型的なオーストラリアの内陸部。

分が良いものである。気を取り直してtake off。上昇、左旋回してWestgate Bridgeという大きな吊り橋へ向かう。この間に152の操縦感覚をほぼ取り戻す。やはり172より若干軽い。

Westgate Bridge 上空。

"Essendon Tower, XSR over Westgate Bridge.

"Roger, frequency change approved, Squawk VFR(2000)."

"Good day, XSR."

"Good day."

メルボルン近郊の2000ft未満は、Melbourne Radarの管轄内にある。但し、交信は義務では無い。Tokyo TCAの様なものである。

"All stations Melbourne Radar, XSR is C152, over Westgate Bridge, Bound for Bacchus Marsh at 1500."

"XSR, this is Melbourne Radar, QNH 1006."

"XSR."

国際空港、空軍基地が付近にあるため、回廊のような空域を飛行して、20nm離れたBacchus Marshへ向かう。Private Airportではあるが、1000m以上の滑走路2本を持つ。但し、この空港だけではないが、この国は土の滑走路が結構多い。約7nm手前でCTAFでInitial Report。"Bacchus Marsh Traffic, XAR is C152, 7nm west, inbound for touch and go. Will join the circuit at 35."

オーストラリアではTraffic PatternはCircuitと呼び、inboundの際はentry予定時刻(分のみ)を送信。特に指示がない場合は、着陸前に最低でもCircuitの3legを飛行するのが、マナー。対地1500ftで飛行場上空をOverfly。使用滑走路をチェックしてCrosswindに入る。

"Bacchus Marsh Traffic, XAR joining the crosswind, RWY 26."

場周経路の飛行は、「日本式」。Base Turnまで高度は一定に保つ。Base Turnで

"XAR Turning Base RWY 26, Touch and Go."

風が少々強いのでフラップは20までで持って行こうとすると、

「どうしてフルダウンにしない？ Finalではフルだろう？」

どうもこの連中は「状況判断」というものをしていないようである。 (次号へ続く)



典型的な田舎町…。



「プロヴァンス空の旅」《後編》

No.5005 楠谷義和

初めて飛び上がった時の感動は何と表現したらいいんだろう。思わず「ワッオー」と叫んでしまった。スコール後の地上は輝きを増した緑、オレンジ色の屋根、白い石灰岩のヴィクトワール山。どこまでも青い空、輝く太陽。マルセイユ・プロヴァンス空港の滑走路上空を横切って地中海へ。海の色がちがう。前方にマルセイユ（マッセルと発音）の街並み、入り江の手前には島が、一番小さい島がイブ島、モンテクリスト伯が閉じ込められた城が見える。フランス第2の都市、ここでも屋根はオレンジ、壁はベージュ色、この色のバランスがとてもステキで観光客を魅惑し続けている。マルセイユを過ぎると白い断崖が海に迫り、深い入り江がいくつもある。カシの海岸だ。旅行のパンフレットや絵はがきでおなじみの所。

雲がかかっているので700ftまで降下、断崖を横目に飛ぶ。コバルトブルーの入り江にはクルーザが停泊している。彼等を覗いているのは私達だけだ、好きな格好で存分に太陽を楽しんでくれ。

トゥーロンはフランス第2の軍港、戦で形勢が悪くなった時、自らの手で軍艦を沈めてしまったという悲しい歴史をもっている。核基地があるとのことで撮影を止められた。もう一カ所撮影禁止の場所があった、サン・トロペの手前イル・ド・カバンという島だ。

サン・トロペの海岸では気の早いパリジャンが生っ白い肌を強い日差しにさらけだしていた。トップレスかって？ たぶん、そうだろう。ここはコート・ダジュールだ。それにしても、急な山肌に洒落た大きな家とプールを造るというのはどういう心がけなのだろう。空から眺める者にとっては何とも言えぬ良い景観だが。

翌日は若いジョーダンがコパイ席に座ってくれた。残念なことに、カンヌ、ニース方面にはCbがあって今回の主目的は断念せざるを得なかった。

反対方向の西へ向かう。フォスの港湾コンビナートを過ぎるとコヌ河の西側は広大な湿地帯、カマルグ国立公園だ。海岸線は70km、北はアルルまでの三角地帯、車の乗り入れは禁止、鳥のサンクチュアリアだ。1000ft位で飛ぶので鳥に注意、ピンク色した鳥の群が見える、フラミンゴだ、500いや1000羽はいる。

こんな所にも人がすんでいるのか。漁師だそうだが、電気、ガス、水道などの文明の恩恵は受けられない。彼らの楽しみは海で採れた魚かシャトーヌフ・デュ・パープのワインか。

今、これを書いていて判ったのだが、あの城壁で囲まれた古い街はエーグモルト、その海側に見えた大きなヨットハーバと近代的なビル群はポールカマルグだったんだ。

モンペリエ空港にフル・ストップ、ジェット旅客機と自分達のパイパーを並べて駐機すると何故か嬉しいネ。マルセイユ・プロヴァンス空港ではラインのシップと並んでアプローチ、私達は31LでTGL。

ATISは英語、ATCはフランス語で行われているが、英語でも可能とのこと。

3日目は雲が多かったが北東側の山岳地帯へ向かう。天気の悪い時は山に近づかないと言う私に、元ミラージュVIのファイター・コナンは是非見せたい所があると。

途中、突然目の前に現れたセスナをシャンデルで追いかけ、下からシューティング(?)。まずは小さなエアフィールド/ヴィノンでTGL。高度2500ftでフランスの「グランド・キャニオン」を行く。白い崖と木々の緑、1500ft下の河の水は神秘的な色をしている。ダムでできた大きなサント・クロワ湖でUターン。東方には雪を頂いた山がみえた。

アプトを過ぎた頃からしきりに雲の下を覗いていたコナンが突然、雲の間を降下しろと言う。赤い、錆色の断崖の上にある古い村が見えた、ルシヨンだ、メイク360°。コナンが見せたかったのはこころシヨンとゴルドの村だったのだ。

アヴィニオンに近いリュベロン地域は国立公園に指定されていて、家もなく、一面緑。プロヴァンスの名物「ミストラル」を防ぐために植えられたポプラや糸杉のバリケードが見事だ。「キッチリと寄せ植えられた幹と幹の間をすり抜けられるのは痩せ衰えた犬くらい」という程。ミストラルは大西洋側に高気圧、東に低気圧が現れたときに吹く北風で、強い時には50ktにも達する。「ミストラルがいかに恐ろしいか、ある者はふさぎこみ、ある者は頭がおかしくなり、畑は大事な表土を奪われ、山羊の乳は酸っぱくなり、痩せた人間は崖から吹き飛ばされる」と言われている。

おわりに。今回の旅はピーター・メイルの写真集と小説の影響を大きく受けている。下記の資料を一読され、プロヴァンスへ旅立たれることをお勧めします。

(終)

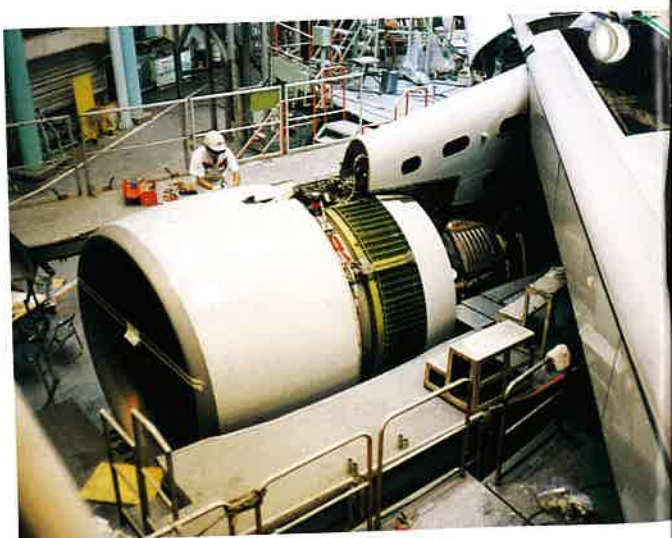
参考資料

- (1) 南仏プロヴァンス 空の旅、ピーター・メイル/ジェイソン・ホークス (小梨直: 訳) (河出書房新社) (1995)
- (2) 南仏プロヴァンスの12カ月、ピーター・メイル (池央耿: 訳) (河出書房新社) (1993)
- (3) プロヴァンス (南フランス) ミシュラン・グリーンガイド、フランスミシュランタイヤ社 (実業之日本社) (1991)



クラブ見学会報告

去る8月5日(月曜日)に恒例のクラブ見学会がありました。昨年同様に日本航空株式会社の御好意によりB747-400をはじめとして、MD-11など新鋭機のシミュレーター3機を用意して頂きました。中には雲の中を計器飛行でミニマムの200フィート迄降下して見事に着陸したクラブ員?もあり、大変好評でした。又、整備工場の見学ではB747ジャンボ機が整備の為に殆どばらばらになっていて、サイド





パネルやフラップを皆で持ち上げてその軽さに驚いていました。(注：アルミとエポキシのハニカム構造で丈夫に軽く作られています。)最後の締めは懇親会を羽田のビッグバードで盛大に打ち上げ、日本航空からも現役の機長、整備士を始めとしてこの企画の為に大変御尽力頂いた運航乗員訓練部の方々も参加され、いろいろとお話を聞くことが出来ました。(感謝!)



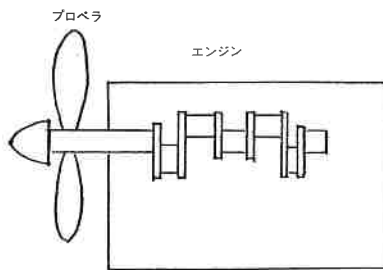
ひさびさに たまにはちょっと

ヘリコプターのお話

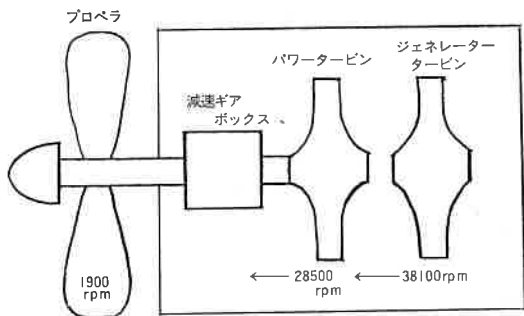
「M. G. Bの中を見た」の巻



例えばピストンエンジンのC172では、巡航時で2200rpmですね。これはプロペラもエンジンも直結していますから同じ速度で回転しています。



2200rpm ← 2200rpm C172



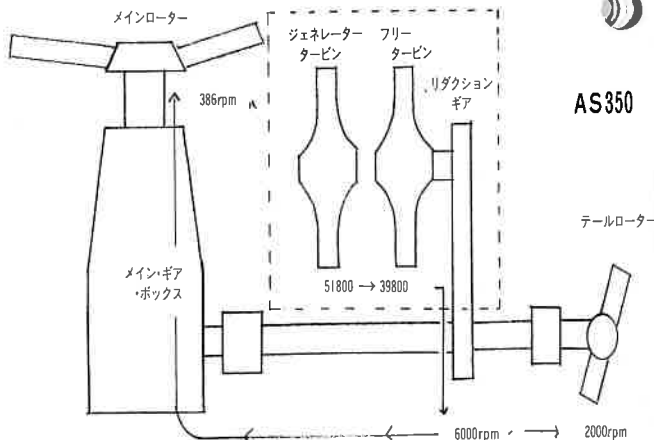
C208

タービンエンジンのC208キャラバンはプロペラの最大回転数は1900rpmでC172に比べて少ない位です。ところがエンジンのジェネレータータービンは38100rpmもあります。ここから「パワータービン」「減速ギアボックス」そしてプロペラへと回転が伝わりますが、この間に

どどんどん減速されていきます。回転を減速する事は力を濃縮するようになります。より大きな力をまとめて発揮できるようになります。

ちなみに自動車は5速時でエンジンは約2000rpm、タイヤが約300rpmとなり、約5：1に減速しています。

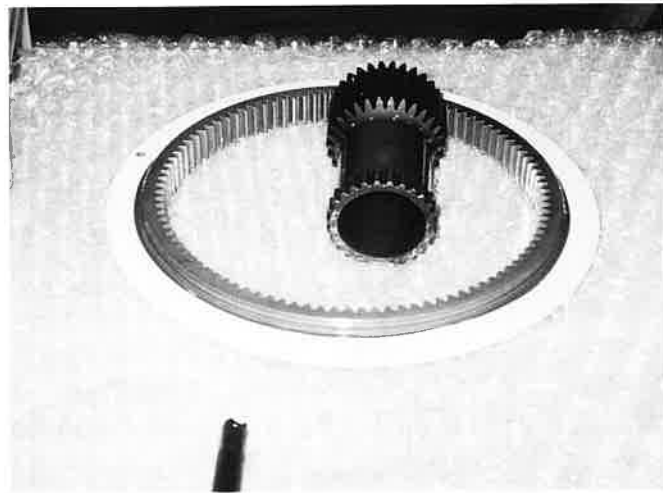
さて、ヘリコプターの場合、頭の上にあのでっかくて重たいメインローターがついています。AS350エキュレーユには、1枚約30kgのローターが3枚のっかっています。それをぐるぐる回して飛ぶには、やはり相当な力が必要です。高いエンジン回転をいくつかのプロセスを踏んでぎゅーっと濃いものにしななければならないのです。AS350ではジェネレータータービンは最大51800rpmです。ここから「フリータービン (39800rpm)」「リダクションギヤ」「M. G. B (メインギアボックス)



AS350

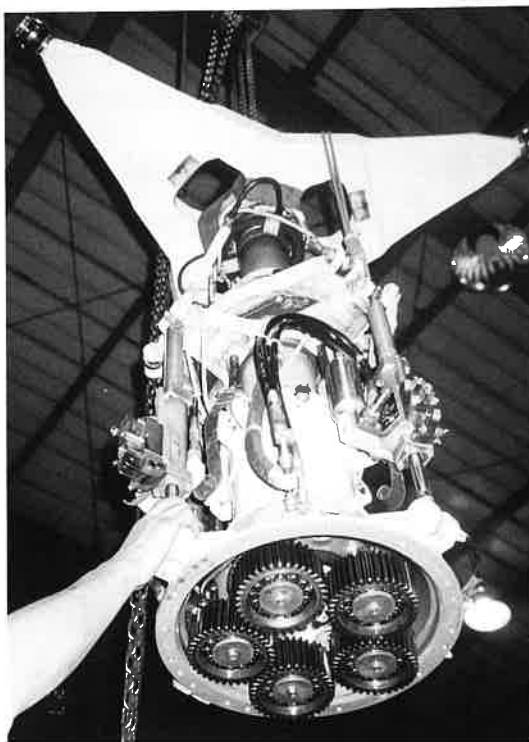
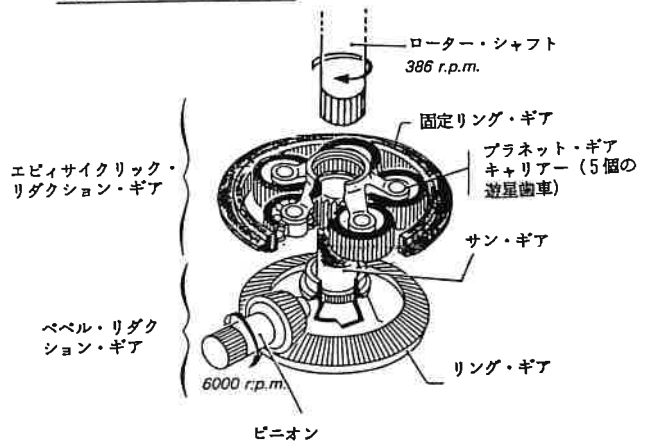
テールローター

ス)”をへて、メインローターではなんと386rpmまで減速します。またこの回転数は、ローターの先端が音速を越えないようになっています。



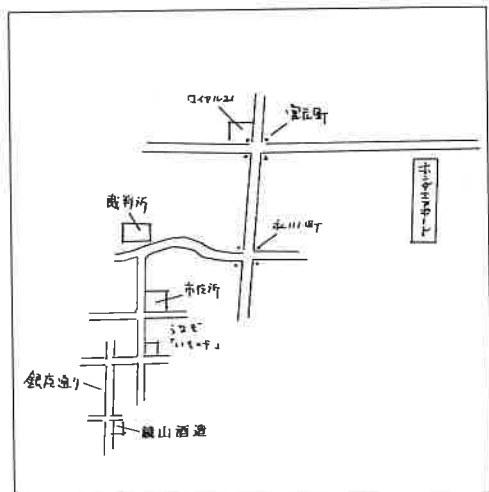
この“M. G. B”ですが減速と共に、もう一つ重要なヘリコプターならではの仕事を受け持っています。それは絵を見るとわかるように、エンジンの回転を90°曲げてメインローターに伝える事です。(中にはエンジンが上や斜めを向いたりしている物も有りますが…)

リダクション・ギア・トレーン



今回本田航空では、A S 350が2000時間点検を迎え“M. G. B”のオーバーホールを行ないました。中の“エピサイクリック リダクション ギア”はメーカーに送られ点検を受けています。“M. G. B”の中を見られるのはちょっと珍しいのですよ。

川越「鏡山酒造」



今回は、全国清酒鑑評会で数々の栄誉に輝き、厳選された米と秩父連峰の地下水からつくる川越で評判の酒蔵「鏡山酒造」を皆様にご紹介いたします。長年貯蔵の「秘蔵酒」、もろみから搾ったままの「原酒」、日本酒の粋「吟醸酒」などすべてが逸品揃いです。また郷土の名をとった男性的な辛口原酒「河越太郎」、「小江戸」など川越土産にもおすすめです。尚、予約をすれば見学も可能とのこと、ホンダエアポートの帰りにぜひ一度立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

見学予約TEL 0492-22-0113

新入会員紹介

フライングスクール

5661 正木英俊 H8.8.7

5662 渡部義廣 H8.9.5

フライングクラブ

1925 高瀬光治 H8.9.2

1926 池田友信 H8.9.2

1927 宮田正行 H8.9.2

USE CAUTION

操縦練習許可書期限が迫っています（敬称略）

11月中に切れる方

西久保 行重 H8.11.06
福澤剛志 H8.11.30
望月 清 H8.11.14
諸井 泉 H8.11.20
山下宗昭 H8.11.21

12月中に切れる方

斉藤 彰 H8.12.11
鈴木重徳 H8.12.04

●申請に必要なもの

住 民 票 1 通
練習許可申請書 1 通

④申請書の住所は、住民票にある通り、丁目、番地等を略さずに書いて下さい。

また、欄外に捺印を押して下さい。

写真（インスタントは不可）3.5cm×4.5cm 2 枚

④写真の裏側にかならず記名して下さい。

印鑑（シャチハタ不可）

申請諸費用 3,200円

●身体検査の受診場所（事前連絡が必要です。）

宮入内科（有楽町交通会館） 03-3211-4845
中溝クリニック（港区芝浦東芝ビル4F） 03-3452-4468
国際空港診療所（羽田空港全日空到着ロビー近く） 03-5757-1122

【個人で操縦練習許可書をお取りになった方へのお願い】

個人で操縦練習許可書の申請を行っているスクールの方は、管制区内での操縦練習の許可申請で個人の練習許可番号及び有効期限が必要となりますので、是非お早めに本田航空、運航部まで御連絡下さい。 TEL 0492-99-1105（運航部直通）

学 科 講 習

11 月	
日付	科 目
3日(日)	運 航 一 般 - 3
8日(金)	工 学 - B
10日(日)	通 信 - B
17日(日)	法 規 - B
22日(金)	航 法 - C
24日(日)	空 中 操 作 - 1

12 月	
日付	科 目
1日(日)	B I F - 1
6日(金)	気 象 - 1
8日(日)	運 航 一 般 - 4
15日(日)	空 中 操 作 - 3
20日(金)	航 法 - C

学科講習携行品

航空法規：航空法 AIM 1/50万チャート

航空気象：新・天気予報の手引 AIM

航空通信：AIM VFR交話法

航空工学：航空工学入門 セスナ172取扱法又はセスナ172飛行規程

航 法：基礎航法教室 航法計算盤の使い方 コンピューター プロッター
1/50万チャート 航法計画書の作り方と飛行の仕方
ナビゲーションログ 操縦訓練マニュアル

計器飛行：操縦訓練マニュアル AIM 飛行機操縦教本

空中操作：操縦訓練マニュアル 飛行機操縦教本

運航一般：AIM VFR交話法 飛行機操縦教本

航空特殊無線：電波法規 無線工学

❖

・138号で御紹介しました小野田さんのBIFトレーニング用プログラム(MS-DOSパソコン用)を御希望の方に実費(フロッピー代)又は空のフロッピーと交換で差し上げます。。問い合わせ先小野田0492-59-6523又は事務局0492-99-1105(山本)までどうぞ。

防災航空隊

「あらかわ2号」見参!



平成3年4月に発足した埼玉県防災航空隊はあらかわ号（JA6644）を運航（運航管理は本田航空）県内の防災活動はもとより阪神淡路大震災に活躍したのはすでにご承知のとおりです。

県では大災害に備え2機目の防災ヘリの準備を進めていましたがこの度、本田航空のあらかわ号と同種機を防災仕様に改良しあらかわ2号（JA9577）として防災任務につくことになり、9月1日の七都県市合同防災訓練から初お目みえしました。今後もよろしくお願ひします。

クラブ員の皆様へ

○本田航空ではホンダフライングクラブ又はスクール入会希望者及びホンダ車購入希望者を御紹介いただいたクラブ員・スクール生の方に無料飛行券を進呈しております。

クラブ又はスクール入会者の紹介…1時間飛行券、

ホンダ車購入希望者の紹介（成約のみ）…20分間飛行券

ウィングニュース 140号

発行者/埼玉県比企郡川島町大字出丸下郷53-1

本田航空株式会社内

ホンダフライングクラブ事務局

Tel 0492-99-1105(代) 〒350-01

表紙イラスト/板橋 繁男

HONDA
FLYING CLUB